

WAKU WAKU WORK (ワクワクワーク) の取組みについて

～若者の地元定着に向けた中高生の職業体験会～

令和6年7月23日
庄内総合支庁

1 概要

【目的】

庄内地域にある地元の「人・企業・職業」を進路決定前の中高生に知ってもらい、将来の地元定着や進学後の回帰促進を図る。

【内容】

各事業所が学校に機材等を持ち込み体験ブースを設置し、生徒が校内で職業体験を行う。

10名程度のグループで2事業所を体験

【主催】

WAKU WAKU WORK 実行委員会

構成：庄内総合支庁、市町、開催各校

2 これまでの経過

- 平成26年度に民間団体と庄内総合支庁の共催で高等学校を対象に初開催
- 令和4年度からは庄内若者定着促進会議での有識者の意見により中学校での開催を働きかけたところ、中学校での開催が大きく増加

「中学生など、より早い段階から庄内地域のすばらしい企業や仕事を知ってもらうことが重要」

年度	開催校・開催回数	参加事業所数
R3	5校（高等学校4、中学校1）	51事業所
R4	21校（高等学校6、中学校15）	62事業所
R5	26校（高等学校7、中学校19）	73事業所

3 今年度の取組み

- 中学校 管内23校のうち19校で23回実施（庄内地域の中学2年生の約85%が、WAKU WAKU WORKに参加）
 - 高等学校 管内16校のうち7校で8回実施
 - 参加事業所 庄内管内の86事業所で過去最多（うち新規参加20事業所）。医療福祉、製造、建設、運輸、小売、農林水産等の多種多様な分野の事業所が参加
- ・学校や事業所からご意見をお聴きしながら、さらに効果的な事業となるよう取り組んでいく。

ものづくりの仕事には今まで興味がなかったが、体験してとても興味がわいた。（生徒）

WAKU WAKU WORKが生徒、先生に大好評。また、生徒が地元企業を知る機会が少なかったことに改めて気付かされた。

（中学校長会会長）



金属の溶接の体験



チェンソーの操作の体験



配線工事の体験



自動車の解体の体験



車椅子での介助の体験